

「ルシェロホワイトシリーズ」を用いた ホームケアとプロケアにおける 口腔内の健康維持への活用

【PTCペースト ルシェロホワイト】

【ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト】 【ルシェロ歯ブラシ W-10】

東京都 景山歯科医院

歯科衛生士

飯田 しのぶ



はじめに

う蝕や歯周病の予防と進行抑制を行い、口腔内を健康に維持するためには、患者さんによるホームケアとメインテナンス・SPTなどのプロフェッショナルケアは欠かすことができません。私は歯科衛生士として来院された患者さんに対して、快適で満足度の高いプロフェッショナルケアを提供したいと考えて日々の臨床に取り組んでいます。

メインテナンス・SPTでは、患者さんのリスクや口腔内の状態に合わせて、初期う蝕の進行抑制や簡単な歯肉縁上歯石の除去に加え、深いポケットや根分岐

部病変内部のデブライドメントなどの処置も必要となります。しかし患者さんは、こうした処置を受けることよりも、ステインで汚れた歯が本来の白さに回復することや、口腔内がさっぱりと爽快になることを喜び、来院の目的と考えているように感じます。ステイン除去に時間がかかるてしまうと、処置を短くしなければならず、処置を優先させるとステインを除去する時間がとれずに、患者さんの望む白さの回復が充分に行えない問題が生じます。ステインの沈着を抑制し、簡単に除去できることは患者さんの

望む白い歯の回復と充分な処置を行ううえでとても大切なポイントです。

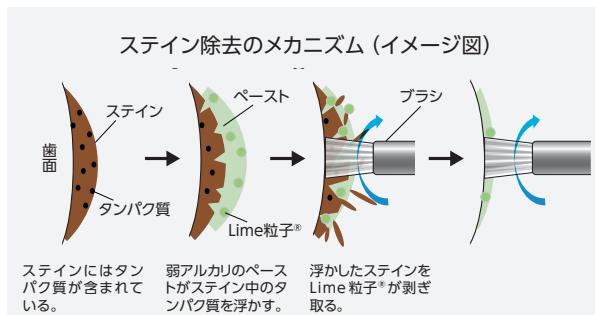
そこで、今回発売された「PTCペースト ルシェロホワイト」と先に発売された「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」「ルシェロ歯ブラシ W-10」を用いて、ホームケアとプロフェッショナルケアの両面からステインの除去と沈着の抑制を行い、患者さんの口腔内の健康維持に活用した取り組みについてご紹介したいと思います。

【PTCペースト ルシェロホワイト】の特徴

「PTCペースト ルシェロホワイト」の特徴は「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」のテクノロジーを用いた、ステイン除去効果のあるPTC専用ペーストであることです。ペーストの弱アルカリ性の効果で、歯面に沈着したステイン中のタンパク質を分解し、落としやすくなっています。

(図A)。「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」との違いは、PTCでの操作性を考慮したペーストの性状と色にあります。歯みがきペーストは唾液に薄まらないよう、やや硬めのペーストになっていますが、PTCペーストは使用時に飛び散らないように調整されたソフトペー

ストです。ライトグリーン色のペーストが薄く伸びて広がるため、歯面を観察しやすく、ステインの落ち具合を確認することができます(図B)。辛みの弱いシトラスグリーンの香味は、ミントフレーバーが苦手な患者さんにも好評で、術後の爽快感にもつながっています。



図A 「PTCホワイト」はペーストの弱アルカリ性によって、浮かしたステインをLime粒子[®] (清掃剤) で剥ぎ取る。





「PTCペースト ルシェロホワイト」を用いたPTCの3つのポイント

ポイント① ステイン沈着のタイプに注目する

「PTCペースト ルシェロホワイト」を使用すれば、全てのステインが簡単に除去できるというわけではありません。ステインの沈着にはタイプがあるため、どのような状態なのか見きわめてからPTCを行うことが大切です。喫煙者のステインや厚みのあるステイン、歯石が沈着している場合は、先にスケーラーを用いてある程度除去してから、PTCを行うことが効果的です。

厚みのあるステインのタイプ
(PTCの前にスケーラーを用いたほうが良いケース)

スケーラー → PTCペースト ルシェロホワイト



1A-1 30代男性、非喫煙者。プラーコントロールは良好だが、歯間部に厚みのあるステインがみられる。PTCのみでは除去に時間がかかるため先にスケーラーで軽く擦ってから、PTCを行うほうが効果的に除去できる。

薄い歯石の上にステインがあるタイプ
(PTCの前にスケーラーを用いたほうが良いケース)

スケーラー → PTCペースト ルシェロホワイト



1B-1 70代女性。歯肉縁上の薄い歯石の上にステインが沈着している。PTCのみでは歯石が残り、ザラザラとした舌感が残ってしまう。そのため、スケーリング後にPTCを行う。

タバコ由来のステインのタイプ

PTCペースト ルシェロホワイト → スケーラー



1C-1 70代男性。SPT2年目。4ヶ月毎の来院。1日10本程度の喫煙習慣がある。歯間部にステインの沈着が認められる。



1C-2 染め出いでプラーコを確認すると軽度の付着がみられた。



1C-3 「PTCペースト ルシェロホワイト」とポリッシングブラシで磨いてもブラシが届かない隣接面はステインが残るためスケーラーを用いて除去する。



1C-4 PTC後の状態。4ヶ月毎にPTCを行なうため根面を傷つけないようにオーバーアンスツルメンテーションに注意する。

ポイント② 歯ブラシを用いてPTCペーストを塗布する

「PTCペースト ルシェロホワイト」は歯面に塗布してから少し時間をおくと、ステインが落ちやすくなると感じているので、先に歯ブラシでペーストを歯面に塗布しながら軽く術者磨きをします。ペーストに含まれている清掃成分であるLime粒子[®]はモース硬度3と、歯質より

低くやわらかいため歯面にやさしくステインが除去できます。薄いステインやプラークであれば歯ブラシだけでも、ある程度除去できます。その後ラバーカップやポリッシングブラシを用いてクリーニングを行います。滑沢な平滑面や補綴物の表面はラバーカップのみで落

とすことが可能と思いますが、ステインが沈着する歯面には、ザラつきや小さな凹凸がある場合が多く、ラバーカップのみで落とすことは困難で時間がかかるため、私は800～1000回転数／分程度の低速でソフトタイプのポリッシングブラシを数秒間当てて除去しています。

軽度のステイン（茶渋）と歯間部にプラークのあるケース

術者磨き → PTCペースト ルシェロホワイト



2A-1 30代女性、非喫煙者。メインテナンス10年目4ヶ月毎の来院。茶渋とみられる軽度のステインの沈着が認められる。



2A-2 染め出しを行うと歯間部にプラークの付着も認められる。



2A-3 「ルシェロ歯ブラシ W-10」を用いて「PTCペースト ルシェロホワイト」を術者磨きをしながら塗布する。



2A-4 先に歯ブラシを用い、口腔内全体を磨くことでステインが落ちやすくなるため作用時間を作ることができる。



2A-5 PTC終了時の口腔内。くすみも取れて歯面が明るくなっている。

ステイン除去に効果的なペーストであり、全てのPTCに活用することができます。PTCの前に、ホームケアの確認として、患者さんの同意を得てプラークを染め出し、ブラッシング指導を行います。その後、染め出されたプラークは確実に除去しなければなりません。「PTCペースト ルシェロホワイト」は染め出されたプラークも落としやすくしてくれる

ため、短時間で確実にPTCを行うことができます。はっきりとしたステインの沈着が認められない症例でも歯面のくすみが取れて透明感のある歯面に回復することができます。しっかりとプラーク除去された歯面の舌触りや、くすみが取れて明るくなった歯面を鏡で確認していただくことでPTC後の患者さんの爽快感と満足感につなげることができます。



ポイント③ ホームケアとプロフェッショナルケアとの組み合わせ

ルシェロホワイトシリーズは、ステインの除去だけでなくプラークの除去効果も高いため、毎日のホームケアと来院時のプロフェッショナルケアで組み合わせて使用することにより、ステイン沈着の抑制だけでなく、プラーク除去による歯肉の変化などの健康へのモチベーションにも役立ちます。

ルシェロホワイトシリーズ *white ruscello*

- PTCペースト ルシェロホワイト
- ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト
- ルシェロ歯ブラシ W-10

ホームケアで「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」と
「ルシェロ歯ブラシ W-10」でプラーク除去効果を高め、
歯肉の改善が見られたケース

ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト
ルシェロ歯ブラシ W-10 → PTCペースト ルシェロホワイト



3A-1 50代、女性メインテナンス16年目、4ヶ月毎の来院。「ルシェロ歯ブラシ B-10S」を使用中。下顎舌側のブラッシングを苦手としている(2017年2月)。



3A-2 染め出いでプラークの状態を確認した。



3A-3 「ルシェロ歯ブラシ B-10S」で磨いた状態。歯頸部を磨くと歯肉が痛むため充分に磨けない。



3A-4 「ルシェロ歯ブラシ W-10」を用いて磨いてもらう。軟らかく段差のない植毛であるため、軽いブラシ圧で痛みを感じず磨くことができた。プラーク除去効果を期待して「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」と合わせて使用してもらう。



3A-5 4ヶ月後の来院時の状態。[6]には炎症が残るもの、[5]、[7]の歯肉は引き締まりがみられる(2017年6月)。



3A-6 染め出して確認するとプラークは[6]に少量残る程度に減少していた。



3A-7 PTC後の状態。

歯周精密検査表		患者氏名	カルテNO.	検査日	PCR	31.0%
ブラーク						
動揺度	欠	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		欠	0 0 0 0	
(出血点)		3 2 3 3 3 3 2 1 2 2 1 3 2 1 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 3 1 2			3 1 2 2 1 3 3 2 2	
ポケット		1 3 3 2 2 2 1 3 3 2 3 3 1 3 1 2 2 1 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 3 2 3			3 2 3 3 2 3 3 2 3	
(出血点)						
部 位	8	7 6 5 4 3 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8				
(出血点)		3 3 3 3 2 3 2 1 2 2 1 3 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 2 1 2 2 2 3 3 2 3 3 2 3				
ポケット		2 1 2 3 3 2 2 1 2 2 1 3 2 1 3 2 1 2 2 1 2 2 1 2 1 2 1 2 2 1 3 2 1 2 2 1 3 1 3				
(出血点)						
動揺度	欠	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				
ブラーク						
■ 出血 □ 嫌癌 ■■ 出血+嫌癌 BOP14.9% ■■■ 分級部病変 ▲ 1度 △ 2度 ▲▲ 3度				プローピング ~3mm 100% 4~5mm 0.0% 6mm~ 0.0%		
歯周精密検査表	患者氏名	カルテNO.	検査日	PCR	14.9%	
ブラーク						
動揺度	欠	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		欠	0 0 0 0	
(出血点)		3 2 3 3 3 3 2 1 2 2 1 3 2 1 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 2 1 2 3 1 2			3 1 2 2 1 3 3 2 2	
ポケット		2 1 3 3 1 2 2 2 3 3 2 3 3 1 3 3 1 2 2 1 2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 2 3 2 3			3 2 3 3 2 2 3 2 3	
(出血点)						
部 位	8	7 6 5 4 3 2 1 1 1 2 3 4 5 6 7 8				
(出血点)		3 3 3 3 2 2 2 1 2 2 1 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 2 1 2 2 1 2 2 2 3 3 2 3 3 2 3				
ポケット		2 1 2 3 3 2 2 1 2 2 1 2 2 1 3 2 1 2 2 1 2 2 1 2 1 1 1 2 2 1 2 2 1 3 2 1 2 2 1 3 1 3				
(出血点)						
動揺度	欠	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				
ブラーク						
■ 出血 □ 嫌癌 ■■ 出血+嫌癌 BOP10.1% ■■■ 分級部病変 ▲ 1度 △ 2度 ▲▲ 3度				プローピング ~3mm 100% 4~5mm 0.0% 6mm~ 0.0%		

3A-8 歯周組織検査表の比較。PCR、BOPともに減少し改善している。

「ルシェロ歯ブラシ W-10」は他のルシェロ歯ブラシと異なり、段差植毛がないため、軽いブラシ圧で植毛面全体が歯面に到達します。ステイン除去用に開発されたひし形毛はプラーグもしっかりと除去してくれます(図C)。ラウンド毛のほうが歯肉に対して刺激が少ないのでないかという心配はありました、「ルシェロ歯ブラシ W-10」の使用時に痛みはありませんでした。薄いくすみ程度のステイン沈着も気にされていたため、ステインとプラーグ除去効果を期待し「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」と「ルシェロ歯ブラシ W-10」を

併用していただくことで経過観察を行いました。

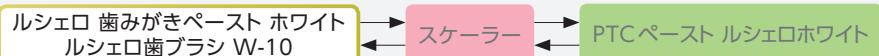
「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」の使用は1週間に1~2回程度ということでしたが、4ヶ月後の来院時には、PCRが31%から14.9%と減少し歯肉の状態も改善することができました。スケーリング後、PTCペーストを用いてプロフェッショナルケアを行い、磨き残しのない口腔内の体験と口腔内写真の観察から、ホームケアの効果とメインテナンスのための来院の大切さを実感していただくことができました。



図C 「ルシェロ歯ブラシ W-10」と特長。



「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」
によりステインが抑制され、
PTC時間が短縮されたケース



3B-1a 70代女性、非喫煙者。メインテナンス10年目、4ヶ月毎の来院。ステインの再沈着が強く、毎回除去に時間がかかっていた。下顎前歯唇側面の状態(2015年2月)。



3B-1b 下顎前歯舌側面の状態(2015年2月)。



3B-2a ホームケアで「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」を使用するようになり、メインテナンス来院時のステインの沈着は減少している(2017年6月)。



3B-2b 舌側面においてもステイン沈着はかなり減少したが、唇側に比べると歯面の窪んだ部分に残りやすい(2017年6月)。



3B-3a 染め出しを行いホームケアの確認後の状態。ポリッシングブラシの届きにくい隣接面は先にスケーラーで擦過する。



3B-3b 舌側の厚みのあるステインは、同様にスケーラーで擦過する。



3B-4a 「PTCペースト ルシェロホワイト」を塗布する。患者さんが使用中の「ルシェロ歯ブラシ P-20S」ではステインを落としにくいため「ルシェロ歯ブラシ W-10」で塗布しながら術者磨きを行う。



3B-4b スケーラーで擦過したステインが浮き上がってくる様子を確認することができる。



3B-5a ポリッシングブラシで磨いた直後の状態。PTC中でもペーストが薄く広がるためステインの除去状態を確認することができる。



3B-5b プラーカやステインの残りを確認しながらPTCを続ける。



3B-6a 唇側のエナメル質に沈着したステインはできる限り除去するが、根面に対しては強く行わず、患者さんが納得してくださる範囲内で抑えるようにしている。



3B-6b 舌側のPTCでは完全なステイン除去を目指さず、プラーカ除去を完全に行うことと舌感の良さを目標にする。

ホームケアでは「ルシェロ歯ブラシ P-20S」を使用し、歯肉炎のコントロールをポイントにプラーカコントロールを行っているため、軟らかい歯ブラシで舌側のステインが落ちにくくなっているようです。今回、「ルシェロ歯ブラシ W-10」を用いてペーストを塗布しながら磨くとステインが落としやす

すかつたことから、ホームケアでは、通常のブラッシングを「ルシェロ歯ブラシ P-20S」で行い、ステイン沈着の抑制として「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」を使う時には「ルシェロ歯ブラシ W-10」を使用していただくように変更しました。

ステイン沈着が減少し、歯肉の炎症の問題に気づいてもらえたケース

ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト



3C-1 60代女性、SPT23年目。ステインが気になりクリーニングのために2ヶ月毎に来院を繰り返していた。度重なるステイン除去で歯面を傷つけないように時間をかけて除去していた(2015年9月)。



3C-2 「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」を毎日使用し、2ヶ月後の状態。以前のようなステインの沈着は見られない(2015年11月)。



3C-3 スteinが沈着しなくなったため来院間隔が長くなり、4ヶ月毎の来院2回目の状態。唇側のsteinは目立たない(2017年6月)。

歯周精密検査表		患者氏名		カルテNO.		検査日 2017.06.26						PCR	39.3%		
ブラク						PO									
動態度	欠	0	0	0	0	0	PO	0	0	0	0	0	0	欠	
(出血点)		3	2	3	3	2	3	1	3	1	2	2	1		
ポケットト		3	2	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2		
(出血点)		3	2	3	3	2	3	3	2	2	2	2	2		
部位	8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	
(出血点)		3	3	3	3	2	3	2	3	1	3	2	1	2	
ポケット		3	2	3	3	2	2	2	1	2	2	1	2	3	
(出血点)		3	2	3	3	2	2	2	1	2	2	1	2	3	
動態度	欠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ブラク															
■	出血	■	赤錆	■	出血+赤錆	BOP14.2%	根分部病変	▲	1度	▲	2度	▲	3度	プローピング	~3mm 100% 4~5mm 0.0% 6mm~ 0.0%



3C-5 「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」を使用する以前の下顎前歯舌側の状態。ステインの沈着だけでなく歯肉の腫脹が認められる(2014年11月)。



3C-6 スteinの沈着は減少し、満足していた患者さんが、歯肉の腫脹は続いていることに気づき、問題意識をもってもらうことができた(2017年6月)。



「ルシェロ 歯みがきペースト ホワイト」を毎日使用することで来院は4ヶ月毎になりましたが、歯の白さに満足してしまい、舌側のプラークコントロールが不足し、炎症は続いています。口腔内写真から炎症の残る舌側を観察したことで、

ご自分の口腔内の問題に気付いていただくことができました。患者さんにとって歯が茶色くなるという問題が解決されたことにより口腔内の健康維持という目的に目を向ける余裕が生まれたように思います。

おわりに

ルシェロホワイトシリーズは、歯を白く保ちたいという患者さんの要望に対して効果的な製品であると思います。歯科衛生士の役割は、この製品のステインの除去効果だけでなく、プラークも落としやすくする効果に注目し、一

番重要である口腔の健康に結びつけることだと感じています。PTCによる爽快感や歯面の白さの回復に加え、この状態をホームケアで維持していただくアドバイスを行うことで、患者さんの口腔内への関心を高めます。そして

患者さんの口腔内を健康に維持するために欠かせないホームケアやメインテナンス・SPTへの来院を継続させるためのモチベーションとなるように役立てていきたいと考えています。



飯田 しのぶ (いいだ しのぶ)

東京都 景山歯科医院 歯科衛生士

略歴◎1982年 日本歯科大学附属歯科専門学校歯科衛生士科(現・日本歯科大学東京短期大学)卒業。1987年 景山歯科医院勤務。2006年 日本歯周病学会認定歯科衛生士取得。2012年 人間総合科学大学人間科学科卒業